

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第4週 (1月19日～1月25日)

1月

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気をつけましょう

今週の定点あたりの報告数は1人でした。大分県全体では3.86人と、先週の2.78人と比較して増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の症状は、突然の発熱、のどの強い痛み、舌が赤くぶつぶつする、のどの奥(扁桃)が腫れて白い附着物がみられることなどがあげられます。咳やくしゃみなどによる飛沫感染で広がりますので、手洗いやうがいの徹底、マスクの着用、タオルの共用を避けるなどの基本的な感染対策が重要です。まれに重症化することがありますので、病院で処方された抗菌薬は、症状が軽快しても最後までしっかり内服しましょう。

咽頭結膜熱(プール熱)の報告がありました

咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、発熱、のどの痛み、目の充血などがみられます。感染力が強く、咳やくしゃみ、手を介して感染します。こまめに石けんでの手洗いを心がけましょう。タオルや洗面用具の共用は控えましょう。症状がなくなってもしばらくウイルスを排出していますので、気をつけましょう。

インフルエンザはさらに減少しました

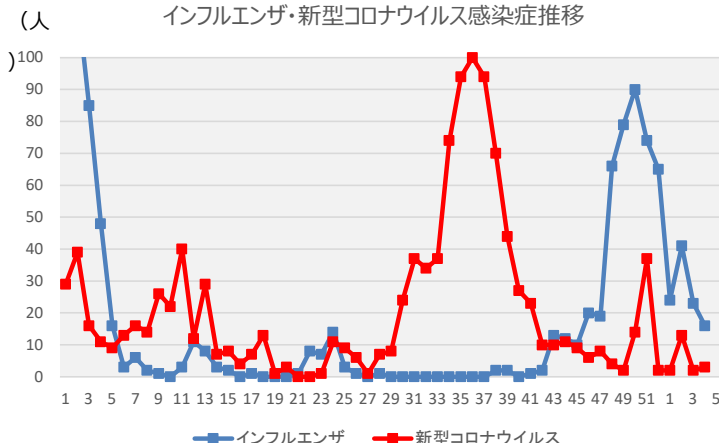
第3週の報告数は16人と、先週の23人と比較しさらに減少しました。型別ではA型が13人、B型が3人でした。豊肥管内の定点あたりの報告数も3.00人と、先週の3.80人から減少しました。大分県全体の定点あたり報告数は28.90名となり、先週の21.43名から増加し、引き続き流行発生警報レベルとなっています。



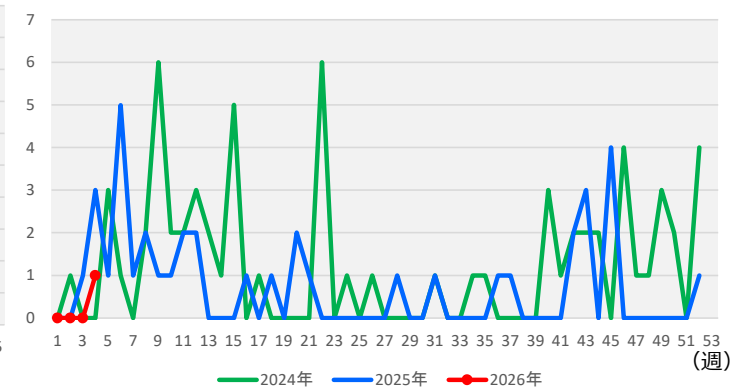
(第4週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳						1													
4～6歳	6																		
7～9歳	1																		
10～14歳								2											
15～19歳	1						1												
20歳以上	5	3		3															
今週	13	3		3		1	1	2											
	16																		
70歳以上(再掲)																			
先週	20	3		2				5											

2025-2026年 竹田地域
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎竹田市8医療機関総
数



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

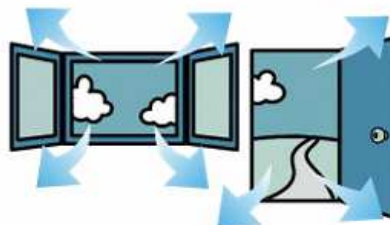


⑦ 石けんを流水で洗い流します。

3つの咳エチケット



こまめな換気



寒いと、つい窓を閉めっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。



厚生労働省

健康・生活衛生局
感染症対策部 感染症対策課